

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)		評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
1 地域医療構想を踏まえた対象期間末における具体的将来像				
1-1 地域医療支援病院の承認(目標:平成30年度)		A 達成	平成29年度承認取得。平成30年4月1日から地域医療支援病院に移行	
1-1-1	平成28年9月に実施した南部区域の保健医療機関を対象とした「地域医療機関連携調査」の結果をもとに、地域医療機関との連携を強め、紹介率・逆紹介率の向上に努める。	B	継続中	平成30年4月から地域連携担当2名を配置して、登録医の拡大に努めている。
1-1-2	医師会及び地域の医療機関と、施設の共同利用に向けた契約を締結する。	A 達成済	平成28年度実施済み	
1-2 DPC特定病院群(Ⅱ群)への移行(目標:平成32年度)		B		
1-2-1	平成28年10月に増設した手術室1室を活用し、既存診療科における高度な手術件数の更なる増加を図る。	B	手術件数 5,008件(前年度比543件増)更に高度な手術の実施に努めていく。	手術室の稼動時間を2時間延長し、手術件数を更に増加させる。
1-2-2	平成29年4月より心臓外科を新設し、新たに心臓外科領域の手術にも対応していくことで、外保連手術指数の向上を目指す。	B	心臓外科手術を年間20件実施した。	心臓外科手術に関しては、週1回のペースを維持し、年間50件を目指す。また、循環器科において、平成30年度に導入した心臓カテーテル用検査装置を使用することにより、経皮的カテーテル心筋焼灼術による不整脈の根治治療の件数を増加させ、外保連手術指数を更に向上させる。
1-2-3	内科領域に関しては、現在DPC特定病院群(Ⅱ群)要件をクリアしているため、現在の水準を維持・発展させる。	B	DPC特定病院群要件を上回る水準で順調に推移している。	
2 埼玉県南部区域の基幹病院として、高度急性期医療に対応できる病院の実現				
2-1 救急医療の更なる充実				
2-1-1	ER型救急システムを稼働する。	B	検討中	総合診療医(現在2人)の増員及びER用診療スペースの確保を図る。
2-1-2	夜間・休日MRIを稼働する。	A	平成28年11月から継続実施	

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)		評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
2-1-3	定期的な情報交換も含め、救急隊との連携を強化する。	B	川口市消防局幹部と救急搬送のトリアージに関する協議・調整を行うなど、連携強化に向け一定の取組を実施した。	当センターが2次・3次救急医療機関としての役割を全うするため、救急搬送に関し、引き続き消防局と連携・調整を行っていく。
2-2 がん診療連携拠点病院としての専門的機能の更なる強化				
2-2-1	緩和ケア病床・緩和ケア病棟を設置する。	B	継続中	平成30年4月から緩和ケアチーム等のメンバーが中心になり、毎月、緩和ケアプロジェクト会議を開催して病棟設置に向けた検討を実施中。
2-3 埼玉県基幹災害拠点病院としての機能の更なる強化				
2-3-1	大規模災害発生時のDMAT及びJMATとの連携体制を強化する。	B	DMAT研修に積極的に参加するとともに埼玉県医療整備課との連携強化を図っている。JMATとの連携は現在行っていない。	川口医師会を通じてJMATとの連携方法を検討する。
2-3-2	BCPの検討を行い、災害発生時においても、より高いレベルで業務を継続する状況を整えていく。	A	平成29年10月からVer1.1としてBCPの共用を開始した。平成30年4月からはVer2の共用を開始している。	PDCAを実施し完成度を高めていく。
2-3-3	病院災害マニュアルの見直しを継続する。	B	平成29年度は検討会を開催していない。	検討会を開催しマニュアルの見直しを進める。
3 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割				
3-1	高度急性期医療を提供する大規模自治体病院の特性を活かし、緊急時における後方病床の確保や、地域に必要な医療人材の確保・育成を積極的に進める。	B	継続中	南部医療圏域に所属する病院との情報交換の場として、地域連携実務者会議を毎年3回程度実施する。
3-1-1	医師会・地域医療機関との間で、開放型病床利用に関する契約を締結する。	A	平成29年度実施済	
3-1-2	地域医療の人材育成に向けて、体制を整備する。【例：卒後臨床研修評価受審(平成28年12月受審)、認定・取得】	A	臨床研修評価を平成28年12月に受審、認定を取得している。現在、平成30年度の承認取得に向けて準備を進めている。	平成30年12月に行われる認定更新審査の受審に向けて準備を行う。
3-1-3	生涯学習システムの見直しを継続する。【例：院内研修の集約・充実、階層別研修・入職時研修・事務職研修の見直し・充実】	A	一部見直しを実施。新人研修の充実、補講の導入など。	内部講師の養成を行うほか、引き続き研修プログラムの充実に向けて検討を行っていく。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)		評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
3-1-4	医師及び看護師のサポートスタッフの採用・育成を進める。	B	常時募集を行っているが、応募者が少なく、充足されているとはいえない状況である。	待遇等の見直しを検討しつつ、引き続き募集を行っていく。
3-2 地域医療連携の推進にかかる取組の推進				
3-2-1	平成21年度から開始している開業医等とのネットワーク強化にかかる取組を継続する。 【例：地域医療機関への訪問、地域医療機関・介護施設向けの研修会の開催、地域医療連携懇話会の開催、連携登録医の導入】	A	地域連携推進懇話会を年度内2回実施。うち1回は自由な交流を主体にしたものとし、地域の医療機関と顔の見える関係作りを進めることができた。また、地域医療機関への訪問を実施するなど、ネットワークの強化に努めることができた。	平成30年4月から地域連携担当2名を配置して、更なるネットワーク強化に努めている。
3-2-2	平成19年度から、紹介患者の受入体制の整備、充実に向けた各種取組を実施しているが、病病・病診連携の更なる推進に向け、紹介患者受入体制を一層強化していく。【例：紹介患者予約枠・優先受入にかかる運用の見直し】	B	継続中	平成30年4月から救急紹介ホットラインを開始して、紹介受入体制を強化している。また、平成30年7月から病診予約の受付時間を17時から19時まで延長して受入体制を拡大している。
3-2-3	在宅医療・介護との連携を強化するための取組を実施する。【例：主治医・往診医を含めた退院前カンファレンスの実施、MCSを用いた医療機関・介護事業所等との情報共有の推進】	B	在宅調整の際には、退院前カンファレンスを必ず実施している。 MCSについては、当センター医師への説明会を実施したが、普及に至っていない。	在宅医療に関する研究会に参加するなど、在宅医との連携強化、情報共有を図っていく。
4 医療機能等指標に係る数値目標				
4-1 医療機能・医療品質に係るもの				
4-1-1	救急受入数(件/年) 29年度目標：4,906件	S	29年度実績：6,348件(29.4%増)	「断らない医療」を掲げ、救急搬送を積極的に受け入れた結果、軽症患者が多く搬送されたことにより、患者1人当たり単価が減少し経営が悪化した。このことから、当センターの本来の役割である中等症以上の患者を中心とした医療に移行できるよう、関係機関の協力を求めている。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)		評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
4-1-2	手術件数(件/年) 29年度目標：4,831件	A	29年度実績：5,008件(3.7%増)	
4-1-3	紹介率 29年度目標：65%以上	A	29年度実績：70.1%	
4-1-4	逆紹介率 29年度目標：40%以上	A	29年度実績：61.3%	
4-2 その他				
4-2-1	入院患者総合満足度	—	調査は隔年実施のため29年度不実施	
4-2-2	外来患者総合満足度	—	調査は隔年実施のため29年度不実施	
5 住民の理解のための取組				
5-1	病院ホームページの充実を図る。	B	分かりやすいホームページの構築に向けて検討を行った。	30年度中のホームページ刷新を目指し、引き続き作業を行っていく。
5-2	川口市広報誌、広報誌「花水木」等によりPRを行う。	S	院外向け広報「花水木」を年度内4回刊行したほか、広報「かわぐち」6月号で医療センターのPR記事を、3月号で地域医療支援病院移行に伴う保存版特集記事を掲載した。	引き続き様々な広報手段を検討していく。
6 経営指標に係る数値目標				
6-1 収支改善に係るもの				
6-1-1	経常収支比率 29年度目標：100.6%	C	29年度実績：96.7%	地域連携強化による紹介患者の増(中等症以上の患者の増)および平均在院日数の短縮、高度医療機器の導入・稼働や心臓外科の本格稼働による手技・手法の高度化等により、患者単価の増額を図っていく。
6-1-2	医業収支比率 29年度目標：96.6%	C	29年度実績：92.4%	
6-2 経費削減に係るもの				
6-2-1	給与費の対医業収益比率 29年度目標：47.9%	C	29年度実績：55.1%	看護師の離職防止策の奏功や診療機能の拡大等による職員数の増加、医師の待遇改善等により給与費が増大したものの。今後は、常に適正な職員数を維持できるよう採用者数の調整を行うほか、医業収益の向上を図っていく。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)		評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
6-2-2	材料費の対医業収益比率 29年度目標：24.9%	B	29年度実績：26.0%	平成29年度の診療材料費については、対医業収益比率が10.0%となり9.0%台で推移をしていた過去の比率を超える結果になった。これは手術件数の伸びと単回使用物品の購入比率が伸びたことが原因にあげられる。今後については、価格交渉・物品統合・物品入替により診療材料をより低価で購入し、対医業収益比率の改善に努めていく。 医療消耗備品については、平成29年度予算に対して80.0%の執行率であることを考慮すると成果をあげたと考えられるが、引き続き費用の削減を図っていく。
6-2-3	減価償却費の対医業収益比率 29年度目標：8.1%	A	29年度実績：8.1%	
6-2-4	後発医薬品使用割合 29年度目標：80%以上	A	29年度実績：89.77%	
6-3 収入確保に係るもの				
6-3-1	入院患者数(人/日) 29年度目標：464人	A	29年度実績：473人/日	
6-3-2	新入院患者数(人/日) 29年度目標：36人	B	29年度実績：33.5人	地域の医療機関との連携を一段と深めて、入院患者の増加に努める。
6-3-3	平均在院日数 29年度目標：12.0日	B	29年度実績：13.1日	救急搬送の積極的受入れにより病床稼働率・病床利用率の実績が目標値を大きく上回ったが、転退院にご協力いただけない患者が多く、平均在院日数が長期化したことで、収益はさほど伸びなかった。平成30年度は、急性期を脱した後には転退院にご協力いただく旨の意識付けを入院時から行っている。
6-3-4	病床稼働率 29年度目標：86.1%	S	29年度実績：87.7%	
6-3-5	病床利用率 29年度目標：79.4%	S	29年度実績：81.5%	
6-3-6	外来患者数(人/日) 29年度目標：1,122人	B	29年度実績：1,085人/日	地域医療支援病院として紹介患者中心の診療を行っていく。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目 (目標)	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
6-4 経営の安定に係るもの			
6-4-1 常勤医師数 29年度目標：110人	A	平成29年度末常勤医師数115人	引き続き必要な医師の確保に努める。
7 新たな施設基準等の取得による収益向上			
7-1 DPC特定病院群 (Ⅱ群)	B	未取得。要件充足を目指して取組進行中 (再掲)	
7-2 地域医療支援病院	A	29年度取得。30年度から移行済(再掲)	
7-3 看護職員夜間12対1配置加算1	A	30年7月取得	
7-4 病棟薬剤師配置加算1	A	29年6月取得	
7-5 医師事務作業補助体制加算2 (30対1)	B	未取得	医師の負担軽減及び収益向上を図るために、引き続き医師事務作業補助者 (臨時職員等) の人員確保に努める。
7-6 急性期看護補助体制加算 (50対1)	A	29年5月取得	
7-7 国際標準検査管理加算 (ISO15189)	B	ISO15189の取得に向け、検査科において要件充足のための取組を実施中	平成30年度内の申請を目指して、職員の能力向上、課題解決に取り組む。コンサルタントに委託せず、検査科職員独自での取組を行っている。
8 その他			
8-1 平成21年度から取り組んでいる地域完結型医療の実現に向けた医療センターの役割、地域の診療所における「かかりつけ医」機能、医療センターと地域診療所の連携強化にかかる取組を今後も継続する。	A	【登録医登録件数 (H30.2.7現在) : 医科146件、歯科95件、計241件】 地域連携推進懇話会を年度内2回実施。うち1回は自由な交流を主体にしたものとし、地域の医療機関と顔の見える関係作りを進めることができた。	【登録医登録件数 (H30.7.5現在) : 医科152件、歯科96件、計248件】 登録医名を院内掲示し、かかりつけ医への受診を啓発するほか、引き続き地域連携推進懇話会の開催、地域医療機関への訪問等を行い、地域連携のネットワーク作りを行っていく。
8-2 平成20年度に導入した院内保育室の24時間保育を継続する。	A	院内保育室の24時間保育を引き続き実施した。	継続して実施する。
8-3 平成19年度に導入した改善推進活動を継続する。	A	改善推進活動は、継続して実施した。	
8-4 平成19年度導入の医療者を中心とした階層別研修を継続する。	A	引き続き医療職の階層別研修を実施した。	

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(平成29年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)		評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
8-5	業務改善に向けた環境整備を図るために、入退院センター及び予約センターの設置、電子カルテを含む既存システムの更新、整備を進める。	A	患者支援センターを設置し、入退院、紹介、予約の機能をワンストップ化した。また、電子カルテシステムの更新については、平成30年度に延期になった。	電子カルテシステムの更新を平成30年5月に実施した。
8-6	住民の健康増進に寄与するために健診事業の拡大を検討する。	A	総合健診センター内に内視鏡室の設置を検討した。	